

平成 19 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 酒井重工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 酒井 一郎
コード番号 6 3 5 8 (東証 第 1 部)
問 合 せ 先 取締役管理部長 渡辺 秀善
TEL 03-3434-3401

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 27 日の中間決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期の通期連結業績予想並びに単体通期業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 27 日発表)	18,000	200	120
今回修正予想 (B)	18,933	258	△ 244
増減額 (B－A)	933	58	△ 364
増減率	5.2	29.3	—
前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	16,541	△ 45	142

2. 平成 19 年 3 月期単体通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 27 日発表)	13,900	100	50
今回修正予想 (B)	14,096	23	△ 1,384
増減額 (B－A)	196	△ 76	△ 1,434
増減率	1.4	△ 76.0	—
前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	13,525	△ 41	116

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正

- ① 国内・海外向けともに販売が好調に推移致しました結果、売上高、経常利益ともに前回予想値を上回る見通しです。
- ② 繰延税金資産 4 億 3 千万円を法人税調整額として取り崩すことと致しました結果、当期純利益は前回予想値を下回る見通しです。

平成 14 年 3 月期に特別損失計上致しました事業構造改革費用に伴う繰越欠損金などに対して、将来の税金負担軽減効果として繰延税金資産合計 8 億を計上しておりましたが、「税効果会計に関する実務指針」に基づいて過去の業績推移よりその回収の可能性を再評価致しました結果、財務健全性の観点より当期決算において 4 億 3 千万円相当の繰延税金資産を取り崩すこととしたものです。

(2) 単体業績予想の修正

単体財務諸表に計上している北米事業子会社株式に関し、過去の北米事業における累積損失9億5千万円相当額に対して、投資損失引当金を計上することと致しました。この投資損失引当金計上及び上記繰延税金資産取崩し4億3千万円により、当期純利益は前回予想値を下回る見通しです。

当社連結子会社である SAKAI AMERICA, INC. 及び SAKAI AMERICA MANUFACTURING, INC. の北米事業子会社株式については、金融商品に関する会計基準に従い市場価格のない株式として取得原価で評価しておりましたが、「子会社株式等に対する投資損失引当金に係る監査上の取扱い」に基づき検討した結果、工場創業期の累積損失を含む累積損失の期末現在高9億5千万円について、将来回復の可能性を慎重に査定致しました結果、財務健全性の観点より当期決算において9億5千万円全額（北米事業投下資本の45%）を投資損失引当金として計上するものです。

なお、北米連結子会社の累積損失については、過去の連結決算において既に損失計上して来ており、本投資損失引当金計上による連結財務諸表への影響はありません。また、北米事業子会社につきましては、平成17年3月期以降黒字転換し、現在では当社連結売上高の四分の一を占める基幹事業として成長してきており、今後とも当社グループの収益創造拠点として育成して参ります。

以 上